

製造品出荷額等約2兆円を誇る コンビナートを支える鹿島港

— 県内の出荷額等の2割を占め、就業者数は2万人 —

- 工業整備特別地域の一つとして、鹿島灘の砂丘をY字型に掘り込み整備された世界有数の掘込港湾
- 石油化学、鉄鋼、飼料、木材など約160企業が立地する我が国有数のコンビナートを支える産業港湾として発展
- 取扱貨物量は全国第15位(平成26年)、特に飼料生産量は全国第1位(港湾別)で国際バルク戦略港湾に選定

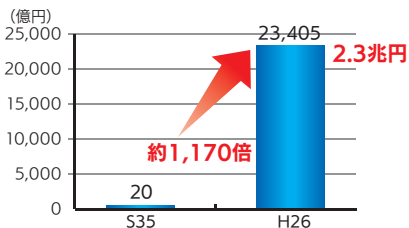
◆鹿島港の整備により

- ・石油化学、鉄鋼、飼料コンビナート群が形成され、首都圏のみならず東日本一円への**基礎素材やエネルギーの供給拠点**としての役割を果たしている。
- ・立地企業の就業者数は**約2万人**、製造品出荷額等は**約2兆円**で、県の出荷額等の**約2割**を占める。

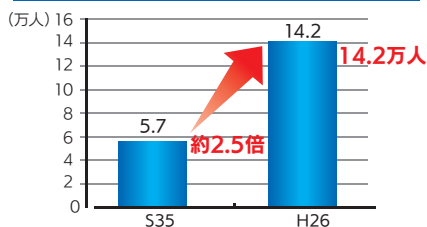
中央航路の掘り込み工事の状況



鹿島港(鹿嶋市+神栖市)の製造品出荷額等の推移
(旧鹿島町、旧神栖町、旧波崎町)



鹿島港(鹿嶋市+神栖市)人口の推移
(旧鹿島町、旧神栖町、旧波崎町)



現在の鹿島港



▲超大型原料輸送船の入港状況

防波堤の整備により港内の静穏度が向上し、併せて漂砂による影響が軽減されており、港湾の整備が進み、船舶の安全かつ安定的な入出港や、大型化による大量一括輸送も可能となりました。近年、40万トンクラスの大型船が国外から4~5隻/年、入出港している実績もあり、海上輸送に頼る弊社にとって国際競争力の強化という観点から、鹿島港の整備には大きな期待をしております。今後は、更なる港内の静穏度の向上を図り、公共埠頭の利便性向上につなげるべく、引き続き港の整備を進めて頂きたいと思っております。



新日鐵住金株式会社 鹿島製鐵所
工程業務部物流室長
松吉 健太郎氏

更なる「静穏度」向上のため、防波堤延伸に期待